

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果と分析について
令和7年2月 小樽市立銭函小学校

令和6年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の調査結果をお知らせします。
本調査は、昨年(令和6年度)の1学期に5年生を対象に実施したものです。

1. 体格について

【男子】身長・体重ともに、全国平均を下回っています。

【女子】身長・体重ともに、全国平均と同程度です。



2. 体力について(合計点から) ※8種目実施

【男子】…全国平均を下回っています。

全国平均を上回っていた種目(握力、反復横とび、立ち幅とび)

下回っていた種目(上体起こし、長座体前屈、20m シャトルラン、50m 走、ソフトボール投げ)

【女子】…全国平均を上回っています。

全国平均を上回っていた種目(握力、反復横跳び、立ち幅跳び、ソフトボール投げ)

下回っていた種目(上体起こし、長座体前屈、20m シャトルラン、50m 走)

3. 運動等に対する意識(特筆する点)

①運動が「好き」「大切と思う」と回答した児童の割合が、
男女共に全国平均を上回っています。

②体育の授業が楽しく感じる場面で、「できなかったことが
できるようになったとき」「友達と交流したり、協力したり
できた時」を選んだ児童の割合が、男女共に全国平均を上
回っています。

③平日に学習以外でテレビやスマートフォンなどの画面を見ている時間が、男子の半数
が3時間以上、女子の半数が4時間以上となり、全国の平均を大きく上回っています。



4. 今後の取組について

これらの結果を踏まえ、引き続き新体力テストの自己更新記録会を開催したり、生活習慣スケジュール表を活用し子ども自らスクリーンタイムの見直しを図ったりするよう促していきます。

なお、運動習慣の定着やスクリーンタイムの自己管理能力は、学校の取り組みだけでは十分に身につけることができませんので、ご家庭においてもお子さんへのお声掛けにご協力をお願いいたします。

